

プロジェクト名:北で広がる夢があるボールパーク構想と連携したまちづくり推進プロジェクト

【現状と課題】

- ・自然と都市機能が調和する魅力的な住環境と豊かな自然環境
- ・2007年から人口減少
- ・北広島団地地区は市内で最も高い高齢化率（45.2%）
- ・社会動態は2016年から社会増
- ・通過型の観光
- ・2018年10月にボールパークの建設が決定

【目指す方向】

・開業前からボールパーク構想の機運を市全体で高めるとともに、ボールパーク構想と最大限連動させた人口減少対策、交流人口拡大対策を取り組むことで、市全体を活性化させ、本市の目指す都市像である「希望都市」「交流都市」「成長都市」の実現を目指す

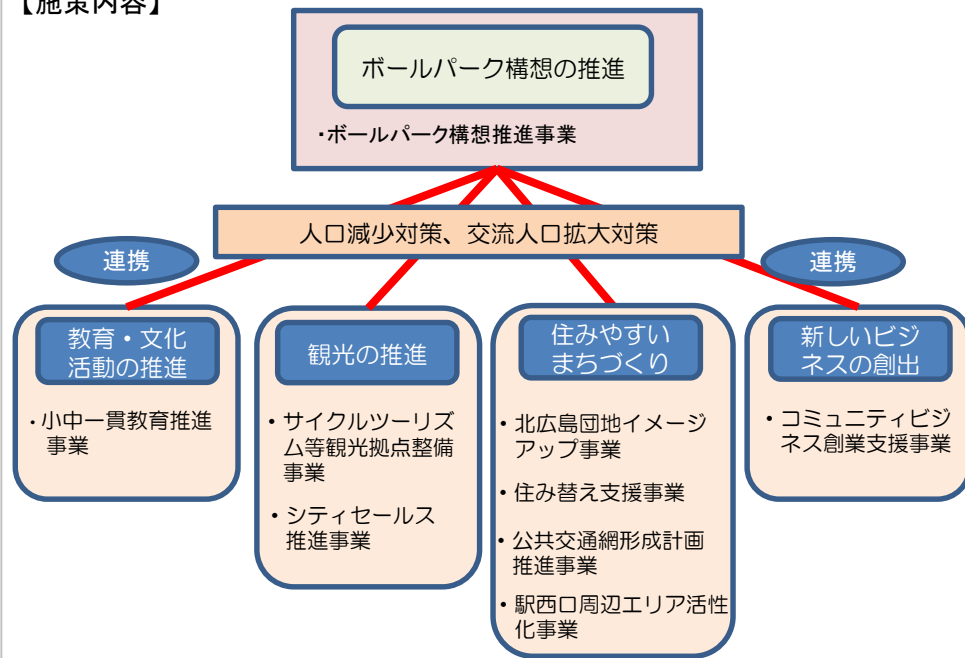


・人口減少を食い止め、地域の活力を創出するためには、さらなる交流人口の拡大と人口減少対策が必要

【対象事業】

- ・ボールパーク構想の機運を高める施策
→ボールパーク構想推進事業
- ・ボールパーク構想の効果を最大限波及させて実施する人口減少対策・交流人口拡大対策
→教育：1事業
→観光の推進：2事業
→住みやすいまちづくり：4事業
→新しいビジネスの創出：1事業

【施策内容】



【KPI】

- ・社会動態
△92人（2010年度～2014年度平均）
→0人を維持継続（2023年度）
 - ・宿泊客延数
123,000人（2017年度）
→125,500人（2023年度）
 - ・北広島団地線の利用者数
564,000人（2017年度）
→564,000人（2023年度）
- ※地区人口は減少するが、路線の利用者数は維持する。

【KPI達成度】

- ⇒ 91人（2021年度）
- ⇒ 59,953人（2021年度）
- ⇒ 318,000人（2021年度）

【評価】 **地方創生に相当程度効果があった**

【評価の選択肢】 ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった